

ふれあい福祉コーナー

ふれあい療育相談を始めました!

障害のあるお子さんやご家族の地域での生活を支援するため、今年1月から実施している「ふれあい療育相談」を紹介します。

《児童のグループ学習》

現在、小学2・3年生の14人が登録しており、マット運動など体を使った遊びや、ちぎり絵などの作業を通じ、体の使い方・動かし方の練習やコミュニケーションの取り方、社会活動のルール等を学んでいます。

左の写真は、大縄とびを順番に跳んでいるところです。当初は、場所やスタッフに慣れず不安げだった子どもたちも、少しずつ課題に集中できるようになり、今では楽しく参加しています。



大縄とび

《保護者の過ごし方》

その間、保護者の方は、専門スタッフに児童の療育に関する相談をしたり、保護者同士で情報交換

をして過ごしています。学校生活や福祉制度、日ごろの悩みなど様々な話題をみんなで欲談しています。子どもたちもその家族の方も、地域の中で楽しく暮らしているように、交流の輪を広げていきたいと思っています。

現在、秋からの参加者を募集中です! 仲間に入ってみませんか? 参加希望の方は、8月15日までに左記へご連絡ください。

○対象者

特別支援学校(養護学校)または市内の特別支援学級に通っている小学1年生から小学3年生までの児童および保護者

○場所

八潮市身体障害者福祉センター(やすらぎ) 別館

○実施日

月2回、土曜日の午前中

※2グループ体制のため、個々の参加は月1回になります。

○内容

- ①グループ学習
- ・作業(描画、工作等)
- ・ルールレクリエーション等
- ②保護者の個別相談
- ③保護者同士の交流や情報交換

○スタッフ

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士

○申し込み方法

あらかじめ利用登録が必要です。まずは担当までご連絡ください。

☎ 4228

タクシー協会と地域安全協定を締結



安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、7月24日、八潮市タクシー協会(6業者100台超)と草加警察署、八潮市が「地域安全協定」を締結しました。

これは、八潮市内をすみずみまで走っている八潮市タクシー協会に所属しているタクシードライバーが、路上強盗やひったくり等街頭犯罪、不審者など、また、道路の危険箇所や傷病人などを発見した場合に警察などに通報し、安全で安心して暮らせるまちを目指すものです。

想像もしていない色になったよ



7月28日、小学2年生から6年生の児童が12人参加して「おもしろ科学実験室」が松之木小学校で開催されました。

今回の実験は、レモンやりんごなどの果物、また、にがりや食酢、砂糖水などに紫キャベツとナスを搾った液を試薬として加え、色がどのように変化するかを調べるものでした。

子どもたちは、ピンク色や緑色に変わった液を見て、「想像もしていない色になった」「きれいな色だね」などと話していました。

ブルーベリー摘みを楽しみました



7月20日、市内二丁目の田中信雄さんが経営している農園(吉川市関新田)に、わかさ福祉作業所の通所者13人が招待され、ブルーベリーの摘み取りを楽しみました。

これは、田中さんが7年前から作っているブルーベリーを障害者の皆さんに見て味わってもらい、これをきっかけに活動する場が少しでも広がればと行われたものです。

農園の中で、青紫色に熟したブルーベリーを初めて摘む皆さんの顔が、生き生きしていました。

一時のタイムスリップに浸る



平成17年9月から中川河川改修に伴い行われていた、八潮市指定文化財「太田屋住宅・蔵」の移築復元工事がこのほど完了しました。移築先は綾瀬川放水路八潮排水機場近くで、文化財としての「市の貴重な財産」が多くの方々の協力により保存することができました。

竣工を記念して7月1日と21日に一般公開がされ、訪れた皆さんは、商家の特徴で現在のシャッターともいえる「擦り上げ戸」などの当時の様々な工夫に関心しながら、一時のタイムスリップに浸っていました。太田屋住宅に関する問い合わせは、文化財保護課(☎997-6666)へ

いきいきやしお写真館